

2025 年 8 月 4 日

各 位

会 社 名 ア ス ク ル 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 C E O 吉 岡 晃
 (コード番号:2678 東証プライム)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 C F O 玉 井 継 尋
 TEL 03-4330-5130

その他の関係会社の決算に関するお知らせ

本日、当社のその他の関係会社である LINE ヤフー株式会社（本店所在地：東京都千代田区紀尾井町 1-3、代表者：代表取締役社長 CEO 出澤 剛）より、2025 年度第 1 四半期 決算説明会 プレゼンテーション資料が発表されましたが、その資料に当社に関する記載がありましたので、該当ページに関し別添のとおりお知らせいたします。

添付資料中、当社の業績に関する記載がございますが、以下のとおり LINE ヤフー株式会社と当社の各連結会計期間は異なり、また、両社の会計基準等の違い※により当社が公表する決算数値とは合致いたしません。

※当社は日本基準、LINE ヤフー株式会社は IFRS を会計基準に適用

連結会計期間	LINE ヤフー株式会社	当社
第 1 四半期	2025 年 4 月 1 日～2025 年 6 月 30 日	2025 年 5 月 21 日 ～2025 年 8 月 20 日
	・ 添付資料中 1 ページ目および 4 ページ目に記載の調整後 EBITDA 増減額 ・ 添付資料中 2 ページ目に記載のアスクル BtoB 事業（インターネット経由）の四半期売上高 ・ 添付資料中 3 ページ目および 5 ページ目に記載のアスクル連結四半期売上高	

別添 LINE ヤフー株式会社 2025 年第 1 四半期 決算説明会プレゼンテーション資料（抜粋）

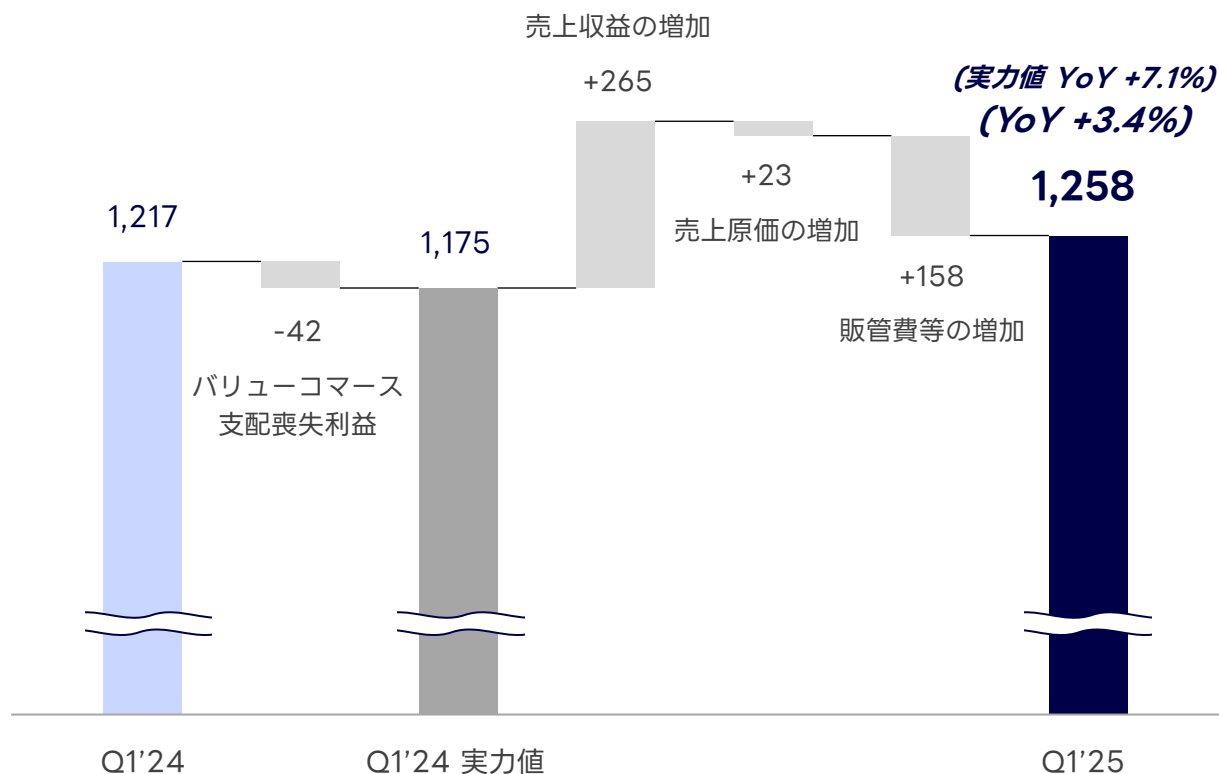
（注）2025 年 5 月 20 日時点で LINE ヤフー株式会社は当社発行済株式総数の 46.22%を所有しております。

以 上

昨年度の一時益を除く実力値ではYoY+7.1%の増益

調整後EBITDA¹増減分析

(億円)



売上収益: +265億円

- メディア (+10億円): アカウント広告が成長
- コマース (+72億円): ZOZO、アスクル、Yahoo!ショッピングが成長
- 戦略 (+174億円): PayPay連結が成長

売上原価: +23億円

- メディア (-5億円): 主に検索広告が減少
- コマース (+6億円): 主にアスクルが増加
- 戦略 (+21億円): 主にPayPay銀行が増加

販管費等: +158億円

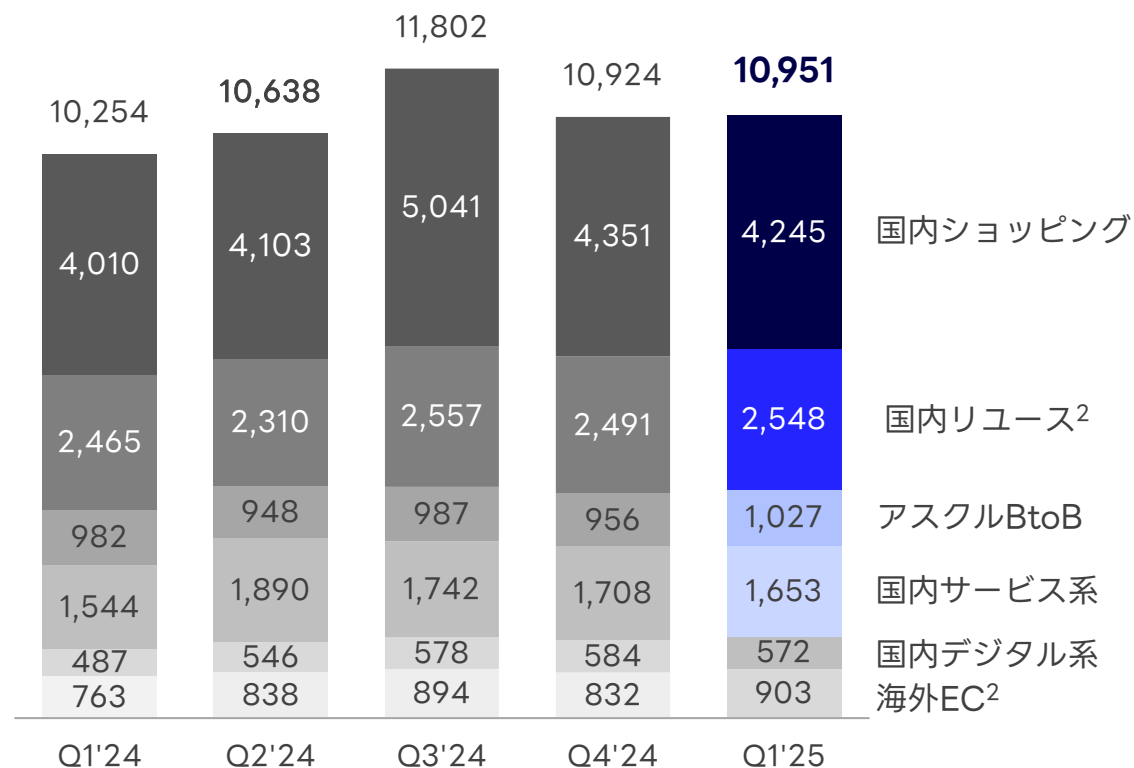
- 販売促進・広告宣伝費 (+74億円): 主にYahoo!ショッピングやYahoo!フリマ、LYPプレミアムやPayPay関連が増加
- その他販管費 (+24億円): 主に支払手数料や業務委託費、通信費が増加

1. 調整後EBITDA:営業利益 + 減価償却費及び償却費 ± EBITDA調整項目。EBITDA調整項目:営業収益・費用の内、非経常かつ非現金の取引損益 (固定資産除却損、減損損失、株式報酬費用、企業結合に伴う再測定益、その他現金の流出が未確定な取引 (一時的な引当金等) 等)。また、一部ファンドの保有株式の売却損益。2022年度第3四半期より定義を変更。減価償却費及び償却費に一部の賃借料を、EBITDA調整項目に一部ファンドの保有株式の売却損益を追加

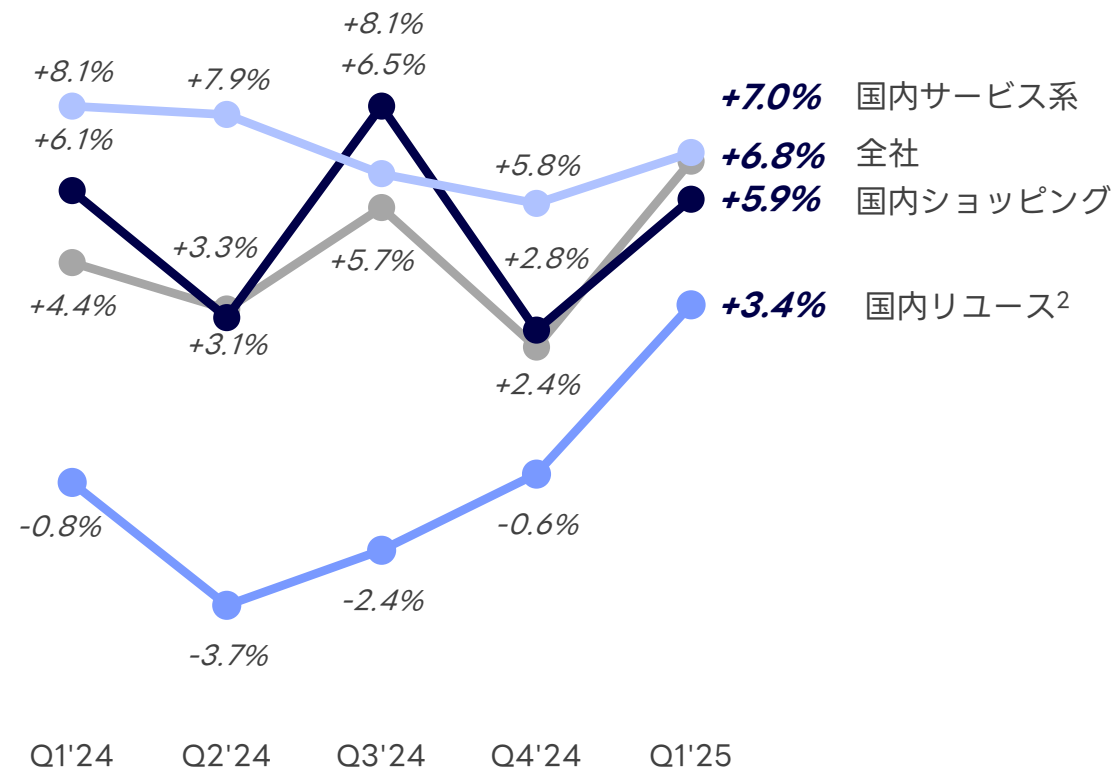
ショッピングとサービス系が成長をけん引

全社 eコマース取扱高¹

(億円)



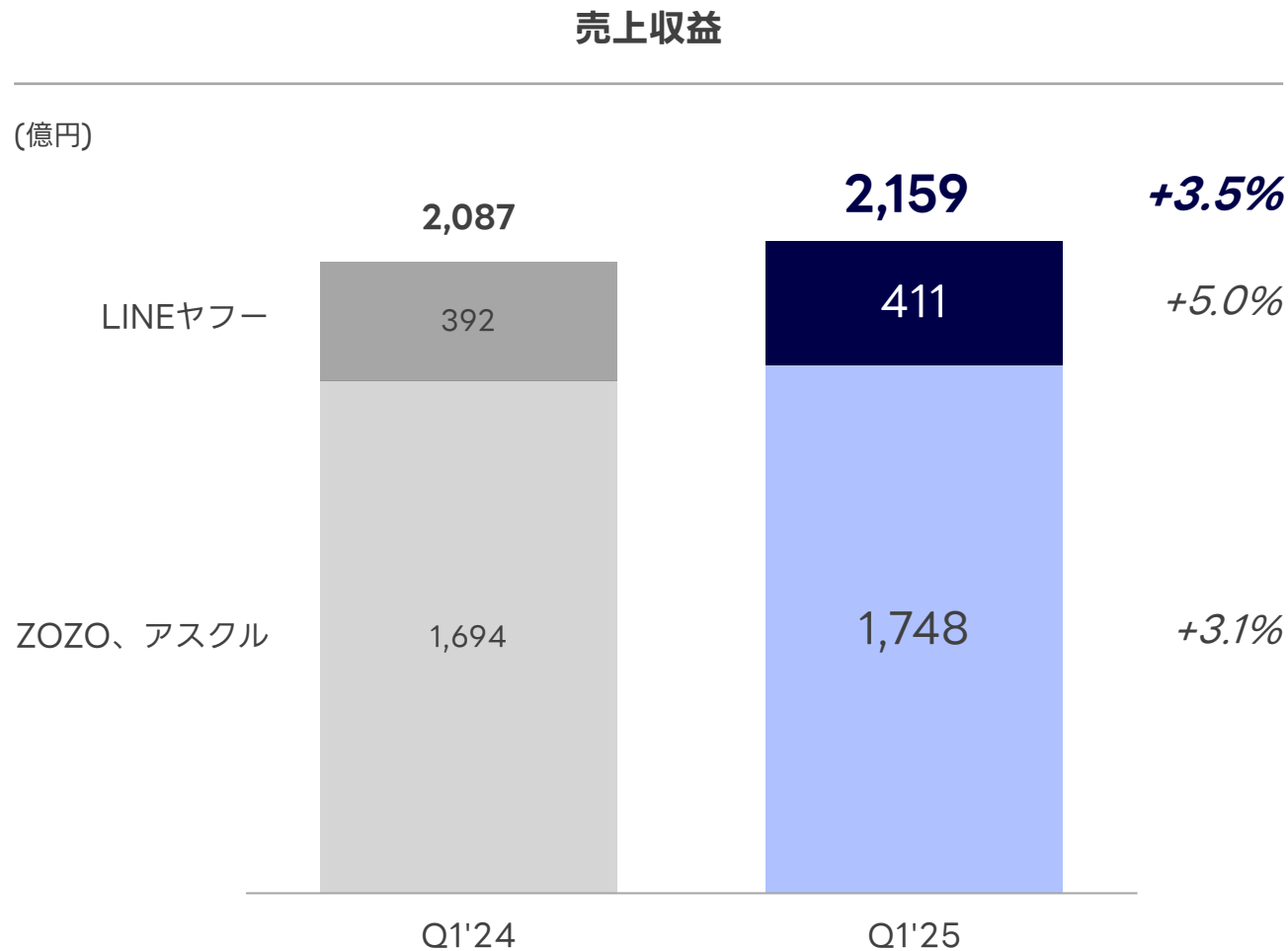
全社 eコマース取扱高 成長率 (YoY)¹



1. 取扱高の定義は補足資料P26参照

2. FY25Q1より、国内リユースに「BEENOS」、海外ECに「Lyst」を含む

各プロダクトが順調に成長



LINEヤフー: +19億円

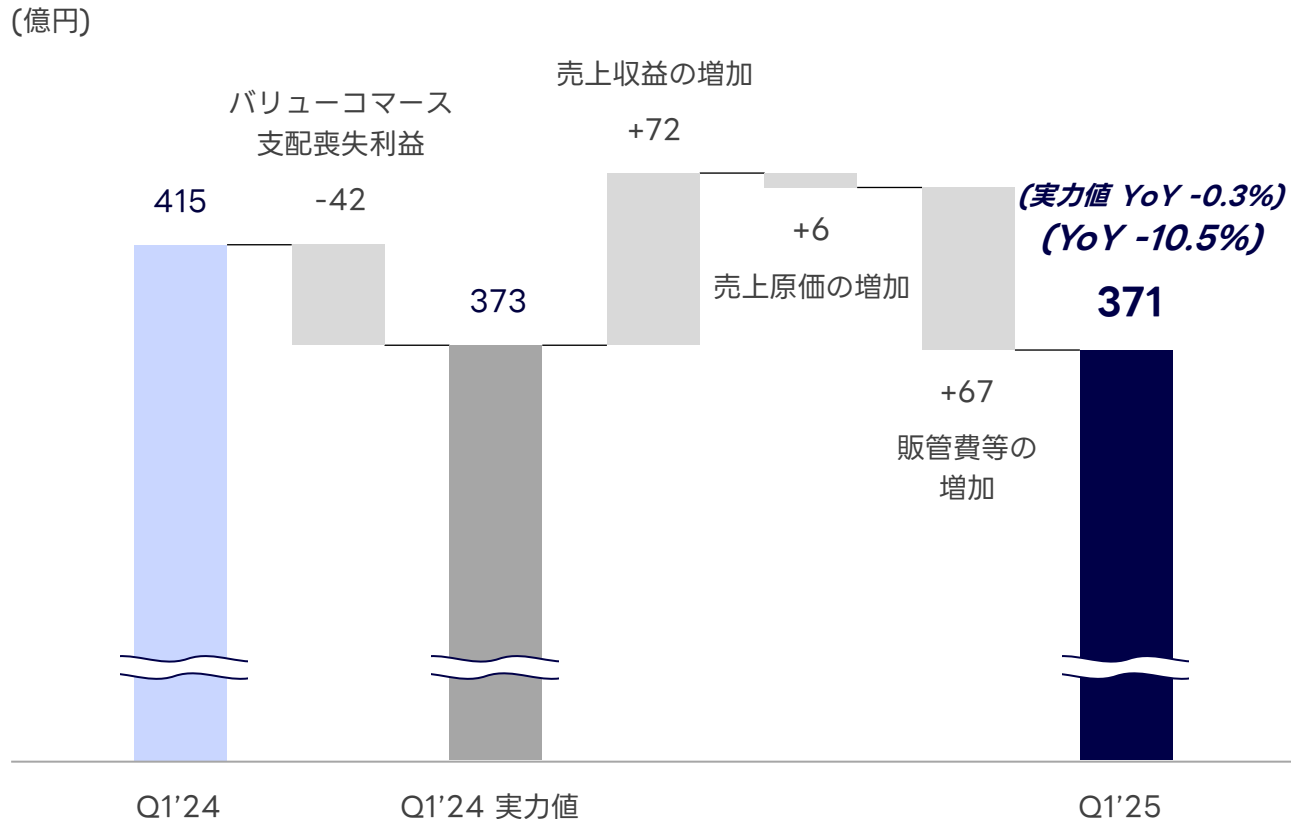
- ショッピング (-4億円): IPX (LINE Friends事業) の非連結化影響で減収。Yahoo!ショッピングは5月と6月に実施した販促施策が好調で取扱高はYoY+6.9%
- リユース (+15億円): Yahoo!オークションは利用者数が鈍化するも、Yahoo!フリマは落札者数・出品者数共に成長。FY25Q1よりBEENOSを連結化
- サービスEC (+8億円): 継続的な販促施策の実施により、トラベルの取扱高はYoY+18.9%

ZOZO、アスクル: +53億円

- ZOZO: ZOZOTOWN Yahoo!店が順調に成長
- アスクル: 飲料・食品などの生活用品カテゴリが堅調に推移

昨年の一時益を除く実力値は、YoYでフラット

調整後EBITDA¹増減分析



売上収益: +72億円

- 主にZOZO、アスクル、Yahoo!ショッピングが成長。FY25Q1よりBEENOSを連結化

売上原価: +6億円

- バリューコマースやIPXの非連結化による改善はあったものの、主にアスクルが増加

販管費等: +67億円

- 販売促進・広告宣伝費 (+46億円): 主にYahoo!ショッピングやYahoo!フリマ、ZOZO、アスクルの販促費が増加
- その他販管費 (+34億円): 主にショッピング事業で業務委託費が増加

1. 調整後EBITDA:営業利益 + 減価償却費及び償却費 ± EBITDA調整項目。EBITDA調整項目:営業収益・費用の内、非経常かつ非現金の取引損益 (固定資産除却損、減損損失、株式報酬費用、企業結合に伴う再測定益、その他現金の流出が未確定な取引 (一時的な引当金等) 等)。また、一部ファンドの保有株式の売却損益。2022年度第3四半期より定義を変更。減価償却費及び償却費に一部の賃借料を、EBITDA調整項目に一部ファンドの保有株式の売却損益を追加

業績概況 (P/L)

(百万円)

	FY2024 Q1 ^{1,2}	FY2025 Q1 ^{1,2}	YoY
売上収益	208,712	215,990	+3.5%
LINEヤフー	39,231	41,189	+5.0%
ショッピング事業	19,415	18,998	-2.1%
リユース事業	10,873	12,395	+14.0%
サービスEC事業	8,549	9,406	+10.0%
その他	392	388	-1.1%
ZOZO、アスクル ³	169,480	174,801	+3.1%
売上原価	95,609	96,248	+0.7%
販管費	93,177	101,277	+8.7%
販売促進費・広告宣伝費	16,092	20,774	+29.1%
その他販管費	77,084	80,502	+4.4%
その他収益及び費用	29,718	-	N/A
調整後EBITDA/マージン	41,553 (19.9%)	37,197 (17.2%)	-10.5%

1. FY24Q3に、メディア事業に区分されていた一休.comレストラン、およびPayPayグルメのサービスをコマース事業に移管。これに伴いFY23、FY24Q1、Q2の業績を遡及修正

2. FY25Q1に、テクノロジー部門の人件費、データセンターおよび社内インフラに関わる費用の配賦基準を変更。これに伴い、FY24業績を遡及修正

3. 当社子会社であるZホールディングス中間(株)は、バリューコマース(株)が2024年3月12日~4月9日まで実施した自己株式の公開買付けに応募し、当該公開買付けが成立。バリューコマース(株)は2024年5月2日に当社の持分法適用関連会社へ移行したことから、以降、バリューコマース(株)のサービスを含まない

項目	内訳
LINEヤフー	—
ショッピング事業	「Yahoo!ショッピング」、「LINEブランドカタログ」、「LINE FRIENDS」、「LINEギフト」、「Yahoo!クイックマート ¹ 」、海外EC（「LINE SHOPPING (台湾・タイ)」、「GIFTSHOP」、「MyShop」、その他)
リユース事業	「Yahoo!オークション」、「Yahoo!フリマ」、BEENOS ²
サービスEC事業	「Yahoo!トラベル」、「一休.com」、「LINEトラベル (台湾)」、その他
その他	その他
ZOZO、アスクル	—
ZOZO	「ZOZOTOWN」、「ZOZOUSUED」、「Lyst ² 」、その他
アスクル	アスクルBtoB事業（「ASKUL」、「SOLOEL ARENA」、「APMRO」、「FEEDデンタル」、その他）、「LOHACO」、「チャーム」、その他

1. 2025年8月31日にサービス終了予定

2. FY25Q1より「BEENOS」「Lyst」を含む

項目		主なサービス・商品
eコマース取扱高		—
国内物販系取扱高		—
ショッピング事業		「Yahoo!ショッピング」、「ZOZOTOWN」、「LOHACO」、「チャーム」、「LINEブランドカタログ」、「LINEギフト」、「LINE FRIENDS」、「Yahoo!クイックマート ¹ 」
リユース事業		「Yahoo!オークション」、「Yahoo!フリマ」、「ZOZOUSED」、BEENOS ²
アスクルBtoB事業 (インターネット経由)		「ASKUL」、「SOLOEL ARENA」、「APMRO」、「FEEDデンタル」等
国内サービス系取扱高		「Yahoo!トラベル」、「一休.com」、「出前館」
国内デジタル系取扱高³		「ebookjapan」、「LINEマンガ」、「LINE MUSIC」、「LINEスタンプ」、「LINE GAME」、「LINE占い」、その他有料デジタルコンテンツ
海外EC取扱高		「LINE SHOPPING (台湾・タイ)」、「GIFTSHOP」、「MyShop」、「ZOZOFIT」、「Lyst ² 」、「LINE FRIENDS」、「LINEトラベル」、「LINE MAN」、「LINEスタンプ ³ 」、「LINE GAME ³ 」、「DOSI ⁴ 」

1. 2025年8月31日にサービス終了予定

2. FY25Q1より「BEENOS」「Lyst」を含む

3. 当該サービスの収益は、メディア事業セグメントに計上

4. グローバルNFTプラットフォーム。当該サービスの収益は、戦略事業セグメントに計上。2025年12月30日にサービス終了予定